

水遊びや夏の遊びを思い切り楽しんだ八月もう終わりますね。トンボが飛び始めて秋の気配を少しずつ感じます。しかし、厳しい暑さがまだまだ続いていますので、熱中症対策を行いながら元気に遊べるようにしていきたいと思えます。

生活の中で育つ『自立する力』

水遊びの活動を通して遊び前後の準備や着替えなど、見通しを持って行動することが出来るようになってきて、「自分のことは、自分で！」という姿が見られ、成長を感じます。

『自分のことは、自分でする』という気持ちを育てていくことは、これからどんどん成長して生活していく子どもたちにとっては大切なことだと考えています。園では、子どもが見通しを持って過ごせるようにしたり、必要な持ち物が分かる自分で準備が出来るようになってほしいと願いを持っています。集いの時間に行事や活動の予定を話したり、持ち物を子どもたちと一緒に伝えています。ご家庭でもお子さんと一緒に明日の予定や持ち物を確認していただきながら一緒に準備をする時間を持つていたただけなら嬉しいですが、また、登降園時に自分でカバンを持つことも『自分のことは自分でする』という気持ちのことは自分でする』という気持ちの育てていくことのひとつとして、子どもたちには自分で持てると協力して子どもたちも園と家庭とでいっしょに支えていけたらと思っています。よろしくお願ひします。

それぞれのクラスで広がるごっこ遊び・・・

1組 魚釣り・水族館

『11ぴきのねこ』の絵本の魚釣りをしている場面を見て、「私たちも魚釣りたい!」と言って魚釣りの遊びが始まりました。「海の中にはこんな魚もいるよ!」と図鑑を見ながら様々な魚をラキューで作っていくうちに、魚の種類もどんどん増えていきました。遊びを進めていくうちに「せっかく魚を釣ったなら食べたいよね…」という声上がり、焼き場を準備すると自分の釣った魚をあみで焼いて食べることを楽しみました。

魚を焼いて食べる遊びが始まると、「この魚は食べられるの?」「これは食べられないよね!」という魚が出てきました…。そこで、みんなで『食べられる魚』『食べられない魚』と仕分けして食べられない魚は水族館を作ったことに!水族館も作り始めるとラキューだけではなく、まんだら塗り絵で魚やクラゲを作ったり、みんなで大きなジンベイザメを作ったり、絵本に出てくる「にじいろのさかな」を作ってみたりと様々な方法で魚作りを楽しみました。みんなで作った水族館に他のクラスの友達も招待し、自分たちが作った魚を紹介しながら水族館ごっこも楽しみましたよ。

遊びを通して、海の生き物への興味がどんどん広がっていった子どもたち。楽しいからこそ『知りたい』『やってみたい』につながることを感じました。

2組 かき氷屋さん

暑さが増し、冷たいものがおいしく感じられるようになり、子どもたちからも「かき氷食べたくなってきた!」と聞かれ、「ブルーベリーとうさんのブルーベージェラムが食べたいな。」という声もちらほら…。そんな時、「ブルーベリーとうさんのブルーベリーとこけももかあさんのこけもものかき氷屋さんすれば、どっちも食べられるんじゃない?」というナイスアイデアが子どもたちの口から飛び出しました。それはクラス一人大賛成!早速、かき氷さんの準備に入る子どもたちでした。「かき氷さんで何が必要?」「カップ!スプーンも!」「じゃあ、カップ作るわ!」「こっちはスプーン作るね。」と必要な物は作る姿や自然と役割分担が出来ている姿には感心します。同じ楽しみ、目的を持つ者同士の繋がりも感じられる姿ですね。

準備が整うとお店のオープンです。店員さんは手際よくかき氷を作り、お客さんも迷う仕草をしながら注文。なんともかわいらしいやりとりが見られます。「ポイントカードも作ろう!」となり、ラキューでカードとスキャナーがあったという間に出来上がり、「ポイントカードは作りますか?」「はい!」「ピッ!」のやり取りも加わり、日常生活での経験が見られて楽しさも増しています。

子どもたちの中にあるやってみたい、面白そうの気持ちは遊びに繋がる第一歩!その気持ちを見逃さず大切に遊びを楽しんでいけるようにしていきたいと思えます。

絵本を通して知る「いろいろな気持ち」

毎日一緒に遊んで、一緒にご飯を食べて、一緒に寝て…と過ごす中で『友達』の存在は子どもたちの中では大きく、また、大切になってきています。「友達と一緒にいるとなんだか嬉しい」「どうしてこんな気持ちになるのかな?」「友達はどんな気持ちになっているのかな?」など、絵本を通して自分の気持ちや友達の気持ちに気づき、考えるきっかけになればと思っています。

そこで保育室で子どもたちと楽しんで見ている「いろいろな気持ち」を感じられるような絵本を紹介します。ご家庭でもお子さんとぜひ読んでみてください。

ラチとらいおん



ラチとらいおん
マレーク・ベロニカ：文・絵
とくなが やすもと：訳
福音館書店



ごめんね ともだち
内田麟太郎：作
降矢なな：絵
偕成社



ともだちは
内田麟太郎：作
降矢なな：絵
偕成社

